鉄筋棒鋼

高強度せん断補強筋ストロングフープ用棒鋼 KSS785 【建築材料認定】国住指3956号、3957号 (MSRB-0124,0125)

鉄筋コンクリート造建築物の梁、柱のせん断補強筋としてご使用頂 ける製品です。

■特長

- 1. 普通鉄筋SD295に比べ、はるかに高い降伏点強度を利用したせん 断補強筋で、短期許容応力度は2倍になります。
- コンクリート強度に適合した鉄筋強度で有効なせん断補強ができます。
- 3. せん断補強筋の過密化を解消します。
- 4. せん断補強筋の重量を軽減し、作業性が向上します。
- 5. 溶接閉鎖型が出来ます。

機械的性質

試験片	降伏強度 N/mm ²	引張強さ N/mm²	伸び %	曲げ性	
武装力				曲げ角度	内側直径
母材	785以上	930以上	8以上	180度	公称直径の3倍
溶接部	785以上	930以上	5以上	_	_

寸法、質量および表面形状

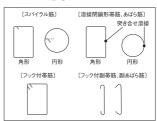
種類の 記号	呼び名	公称直径 mm	公称 断面積 mm²	単位質量 g/mm	表面形状
KSS785	S6	6.35	31.67	0.249	
	S8	7.94	49.51	0.389	6000
	S10	9.53	71.33	0.560] ~
	S13	12.7	126.7	0.995	凹異形 (水玉)
	S16	15.9	198.6	1.56	8

曲げ加工性

折り曲げの内径直径は 4d以上とする (d:呼び名に用いた数値)



主な加工形状



日本製鉄 建設用資材ハンドブック 2025年9月改訂版

ご注意とお願い

本資料に促進された技術組織は、最級の代表的な特性や特殊を設明するものであり、「機能」の教定事態として現じたもの以外は、保証を検するものではありません。外 非に配金されている時間の含った使用または不適切が使用等によって生じた影響につきまして対策性を対しますので、こで多くだい。また、これらの機能は、今後予念 なした変更される場合がありますので、最終の機能については、超速部階にお担い合せください。本資料に記載された内容の無断を能や視写はご確慮ください。本資料に記載された内容の無断を能や視写はご確慮ください。本資料に記載された対象の心容和は、お社さんび当社の関係または登録的機です。 その他の数据された状態の必要は、まれたは不可能の関係は対象を関係です。